

貸借対照表

(平成18年3月31日現在)

(単位 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
I 流動資産	93,284,547	I 流動負債	1,988,809
1. 現金・預貯金(本部)	11,455,950	1. 預り金	1,988,809
2. 現金・預貯金(支部)	71,521,361		
3. 未収金	5,798,992	II 固定負債	3,749,439
・平成13年度未収会費	1,082,000	1. 職員退職引当金	3,749,439
・平成14年度未収会費	1,004,000		
・平成15年度未収会費	642,000		
・平成16年度未収会費	1,002,000		
・平成17年度未収会費	1,886,000		
・未収仮払金	182,992		
4. 立替金	192,001		
5. 仮払金(概算損害保険料)	4,316,243		
II 固定資産	5,724,077	正味財産の部	93,270,376
1. 什器備品	1,570,387	(うち当期正味財産増減額)	▲ 33,253,496
2. その他の固定資産	4,153,690		
・財務調整積立金	2,200,000		
・退職手当積立金	800,000		
・中退金積立金	1,153,690		
合 計	99,008,624	合 計	99,008,624

計算書類に対する注記

【重要な会計方針】

1. 職員退職金引当金の計上基準について

① 平成17年度期末職員退職金規程による要支給額	3,749,439円
② 平成17年度期末退職手当積立金	800,000円
③ 平成17年度期末中小企業退職金共済事業本部による試算支給額	1,153,690円
④ 平成17年度期末職員退職金引当金不足額	1,795,749円

なお、引当金不足額については、財政状況を考慮しながら、予算編成時に各積立金を増額等して補填計上していく。

2. 資金の範囲について
資金の範囲については、本部現金・預金、支部現金・預金、未収金、立替金、仮払金、未払金、前受金、預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、3.に記載のとおりである。

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	前期末残高	当期末残高
・本部現金・預金	13,616,658	11,455,950
・支部現金・預金	98,827,722	71,521,361
・未収金	7,092,000	5,798,992
・立替金	180,500	192,001
・仮払金	4,114,888	4,316,243
合 計	123,831,768	93,284,547
・預り金	49,212	1,988,809
・未払金	248,017	0
・前受金	0	0
・仮受金	166,064	0
合 計	463,293	1,988,809
繰越収支差額	123,368,475	91,295,738